

## ■ 平成 25 年度事業概要 ■

### I 文学資料の収集・整理・保存及び閲覧事業

購入資料受入れ総数（図書・雑誌及び特別資料等） 1,176 点

寄贈資料受入れ総数（同上） 2,919 点

4,095 点

整理・保存 収蔵資料のコンピュータ入力並びに寄贈目録の作成等

閲覧 利用者 延 4,575 人

### II 展覧会事業

#### (1) 展覧会開催事業

区分	事業名	実施時期 (日数)	観客数 (人)	展覧会の概要
	常設展 北海道の文学	通年 (271 日間)	12,288	北海道の文学を時系列に従いつつジャンル別に構成し、解説している。ビジュアルな展示スタイルに主眼を置き、直筆原稿・遺品・初版本・書簡・写真などの貴重な資料 1,350 点を紹介。(◎展示構成を次頁に掲載。)
	特別展 紙芝居の今昔	5/25(土) ～ 7/7(日) (38 日間)	2,260	日本の大衆文化の中で生まれ育った紙芝居は、他国にはない日本独自の文化である。 昭和初期に誕生した紙芝居の源流そして歴史と現在に至る展開を群馬県立土屋文明記念文学館の所蔵品を中心に紹介。
	ファミリー文学館 絵本・カムイの物語	7/20(土) ～ 8/25(日) (32 日間)	2,096	アイヌ民族に古くから伝わる物語に動物や植物、風や火といった自然現象などカムイ（神）を主人公にしたカムイ・ユカラがある。版画家手島圭三郎や横山孝雄などのカムイの世界を描いた絵本や映像等を紹介。
	特別展 挿絵が僕らに くれたもの	9/7(土) ～ 10/20(日) (38 日間)	8,232	宮崎駿が現代のファンタジーの源泉だと語るアンドルー・ラングによる世界各国の童話集の挿絵や同じく影響を受けたロシアの挿絵画家ビリー・ビンの名画など、宮崎駿の創造の原点とも言えるファンタジーの世界を紹介。
	特別展 ほっかいどうの短歌 100 首	11/1(金) ～ 12/8(日) (39 日間)	1,590	北海道を詠んだ石川啄木、北原白秋、若山牧水、与謝野晶子、斎藤茂吉、斎藤史など著名歌人たちの秀歌を、自筆の色紙、短冊など貴重な資料とともに紹介。
	特別展 荒巻義雄の世界	2/8(土) ～ 3/23(日) (38 日間)	1,605	小樽に生まれ、札幌で創作を続ける荒巻義雄は、70 年に SF 作家としてデビュー、「紺碧の艦隊」シリーズがベストセラーになった。180 冊におよぶ著書の領域は SF 評論のほか伝奇小説、美術評論、詩にまでわたり、その幅広い表現世界を紹介。

#### 【常設展プレミアム】

「木版画家・佐藤国男による宮沢賢治ワールド」

4 月 12 日(金)～5 月 12 日(日) 27 日間 観覧者数 2,104 人

没後 80 年になる詩人・宮沢賢治の童話や詩をテーマに木目を生かした心温まる版画を彫り続けている佐藤国男の作品を紹介。

#### 【文学館アーカイブ（新着資料）コーナー】

- ・第 1 期展示 [4 月 2 日(火)～6 月 30 日(日)]

有島武郎の絵画

「有珠無名谷の煙」ほか当館所蔵の有島武郎の絵画を紹介。

- ・第 2 期展示 [7 月 2 日(火)～9 月 29 日(日)]

鳩沢佐美夫自筆資料

「対談・アイヌ」などの作品で知られる小説家・鳩沢佐美夫の自筆原稿などを紹介。

- ・第 3 期展示 [10 月 1 日(火)～12 月 14 日(土)]

北海道の漫画家たち

当館所蔵の森雅之、畑中純のイラストのほか北海道ゆかりの漫画家たちを紹介。

- ・第 4 期展示 [2 月 1 日(土)～3 月 30 日(日)]

岡村吉右衛門・染絵作品

柳宗悦の民芸運動に参加した染色家・岡村吉右衛門の染絵作品を紹介。

(2) 常設展の展示構成

〈北海道の文学、その歴史〉〔神谷忠孝・平原一良〕

◆20世紀への胎動 久保栄「五稜郭血書全5幕」自筆原稿、北方謙三「林蔵の貌」自筆原稿、高倉新一郎「札幌農学校」 ◆助走期の苦闘 有島武郎・木田金次郎宛書簡、武者小路実篤「武郎さんと僕」自筆原稿、雑誌「白樺」 ◆漂泊と彷徨 国木田独歩「欺かざるの記」複製原稿、幸田露伴「二日物語 此一日」複製原稿、石川啄木「雲は天才である」複製原稿 ◆道産子作家の誕生 武林無想庵「アルバム」自筆原稿、森田たま「きもの博士」自筆原稿、中戸川吉二・久米艶子宛書簡 ◆逆流のさなかで 小林多喜二「故里の顔」複製原稿、久保栄「火山灰地」自筆原稿、本庄陸男「逆流」自筆原稿 ◆モダニズムの台頭 伊藤整「文化的青春伝」自筆原稿、中村武羅夫自筆色紙、岡田三郎「かぼちゃ談義」自筆原稿 ◆戦火の中で 辻村もと子「馬追原野」自筆原稿、石塚喜久三「花の海」自筆原稿、坂本直行自筆カット原画 ◆復興と再生 畔柳二美「こぶしの花の咲くころ」自筆原稿、風巻景次郎「札幌地理学」複製原稿、船山馨遺品 ◆成長期の精華 雑誌「北海道文学」(原田康子「挽歌」掲載)、和田芳恵「五十年ぶりの帰郷」自筆原稿、李恢成自筆色紙、三浦綾子短冊(三浦光世筆) ◆変転する現代 高橋揆一郎「『仲予』覚え書き」自筆原稿、吉村昭「赤い人」自筆原稿、渡辺淳一「リラ冷えの街」自筆原稿

〈北海道の詩〉〔原子修〕

◆「現代の詩」の創造に挑んだ〈風の詩人〉たち 吉田一穂「魚歌」自筆扁額、小熊秀雄画「裸婦」 ◆「現代の詩」を北の大地に根づかせた〈土の詩人〉たち 更科源蔵「河童十二ヶ月」複製原稿、和田徹三「命」自筆原稿、河邨文一郎「オホーツク」自筆原稿 ◆「現代の詩」の新しい可能性を求めて 原子修自筆色紙

〈北海道の短歌〉〔内田弘〕

◆北海道歌壇の動き 小田観螢、並木凡平、酒井廣治、山下秀之助、伊東音次郎 ◆北海道歌人会 その主な活動 ◆歌人達の揮毫 野原水嶺、芥子澤新之介、小田観螢、宮西頼母、川村濤人、樋口賢治 ◆北海道を詠む 石川啄木、太田水穂、若山牧水、土屋文明、与謝野寛、与謝野晶子、斎藤茂吉、佐藤佐太郎、橋本徳寿、宮柊二、太田青丘、斎藤史、清原日出夫

〈北海道の俳句〉〔木村敏男〕

◆北方俳句の夜明け 松窓乙二、河東碧梧桐、牛島勝六、高浜虚子、長谷川零餘子、白田亜浪、石田雨圃子、青木郭公ほか ◆俳句近代化への潮流 荻原井泉水、泉天郎、長谷部虎杖子、唐笠何蝶、細谷源二、土岐鍊太郎、伊藤凍魚、水野波陣洞ほか ◆花ひらく北の俳句 斎藤玄、寺田京子、比良暮雪ほか ◆俳句の現代 比良暮雪、佐々木丁冬、鮫島交魚子、園田夢蒼花、山岸巨狼ほか

〈アイヌの口承文芸〉〔青柳文吉〕

金田一京助、知里真志保、久保寺逸彦、金成マツ、知里幸恵、萱野茂

〈北海道の川柳〉〔斎藤大雄〕

◆明治～昭和初期 鈴木青柳、北村白眼子、亀井花童子、神尾三休、三輪破魔杖、井上剣花坊、鶴彬、西嶋〇丸、田中五呂八ほか ◆昭和後期～平成7年 西村欣童、高木夢二郎、森田一二、甲野狂水、古田八白子 ◆北海道の川柳社 道央、道南、道東、道北の各結社の活動と結社誌等を紹介

〈北海道の児童文学〉〔柴村紀代〕

◆明治～昭和20年代 伊東音次郎、支部沈黙、坪松一郎ほか ◆昭和30年代 石森延男、神沢利子、安藤美紀夫、渡辺ひろし、玉川雄介ほか ◆昭和40年代以降 加藤多一、後藤竜二、長野京子ほか

〈千島・樺太の文学〉〔木原直彦〕

夏堀正元、吉村昭、李恢成、寒川光太郎ほか

III 教育普及事業

注：「事業項目」の無印は道負担金事業、※印は財団企画事業。

事業項目	事業名	実施時期(日数)	目標観覧(参加)者数(人)	観覧(参加)者実績数(人)	備考	
教育普及事業	講演会・セミナー・講話等	文芸対談「<銀河鉄道の夜>をめぐるって」 講師：佐藤国男(版画家)、斎藤征義(詩人)	4/27(土)	80	90	「常設展プレミアム」関連事業
	〃	ギャラリートーク 講師：佐藤国男(版画家)	4/28(日)2回	80	146	〃
	〃	文芸講演会「紙芝居の文化史」 講師：石山幸弘(紙芝居研究者)	6/2(日)	80	35	「紙芝居の今昔展」関連事業
	〃	文芸講演会「北海道にみる紙芝居の歩み」 講師：谷 暎子(児童文化研究者)	6/9(日)		36	〃
	〃	お楽しみ実演会「紙芝居がやってきた！」 講師：桐越陽一(路地裏芸を楽しむ会)	5/25(土)、6/15(土)、 6/16(日) 各日3回実施		544	〃
〃	紙芝居実演「ほっこり紙芝居タイム」 講師：ボランティアメンバー	5月～7月 9日間 各日2回実施		397	〃	

事業項目	事業名	実施時期(日数)	目標観覧(参加)者数(人)	観覧(参加)者実績数(人)	備考
講演会・セミナー・講話等	文芸講演会「銀の滴 降る降るまわりに」 講師：横山むつみ(銀のしずく記念館館長)	7/21(日)		82	「ファミリー文学館」関連事業
〃	文芸公演「カムイ・ユカラを語る」 出演：木幡サチ子(ユカラ伝承者)、松井信子(俳優)、藤村久和(北日本文化研究所代表)	8/3(土)		85	〃
〃	読み聞かせ「カムイの物語」 出演：札幌静修高校、札幌日大高校生	7月～8月 7日間 各日2回実施		146	〃
〃	「挿絵が僕らにくれたもの展」 オープニングセレモニー	9/7(土)		32	「挿絵が僕らにくれたもの展」関連事業
〃	文芸講演会「ジブリ美術館と挿絵の楽しみ方」 講師：中島清文(三鷹の森ジブリ美術館館長)	9/7(土)	80	91	〃
〃	ワークショップ「オリジナルのさし絵をつくろう」 講師：すずきもも(絵本作家)	9/15(日)		17	〃
〃	映画鑑賞会「乳房よ永遠なれ」	11/3(日)		49	「ほっかいどうの短歌100首展」関連事業
〃	文芸対談「記憶の向こうにある北海道」 出演：穂村弘(歌人)、山田航(歌人)	11/17(日)	80	107	〃
〃	文芸講演会「北海道を詠う」 講師：内田弘(歌人)	11/23(土)	80	39	〃
〃	公開歌会「若手歌人」たちによる文学館歌会」 出演：大塚亜希、岡美紗緒、中村美智、樋口智子、柳澤美晴、雪舟えま	11/24(日)		68	〃
〃	「荒巻義雄の世界展」オープニングセレモニー	2/8(土)		42	「荒巻義雄の世界展」関連事業
〃	文芸講演会「シティー・マイスター荒巻の就任演説」 講師：荒巻義雄(作家)	2/8(土)	80	67	〃
〃	パネル・ディスカッション「荒巻SFの原点を語る」 出演：荒巻義雄(作家)ほか3名	2/11(火)		64	〃
〃	ニュー・ユートピア絵画展表彰式	2/22(土)		62	〃
〃	文芸対談「SFにおける都市のイメージ」 講師：荒巻義雄(作家)、松橋常世(建築家)	3/1(土)		61	〃
〃	ギャラリー・ツアー「荒巻義雄の世界を語る」 講師：荒巻義雄(作家)ほか3名	3/15(土)		40	〃
※	朗読会 「宮沢賢治の世界Ⅰ」 朗読：村井裕子 カンテレ演奏：あらひろこ	7/5(金)	60	58	
※	〃 「宮沢賢治の世界Ⅱ」 朗読：村井裕子、藪淳一 二胡演奏：阿部彩子	10/4(金)	60	54	
※	月例朗読会 朗読：ボランティアグループ「蔵」ほか	年10回	500	671	
※	ウィークエンド・カレッジ 児童文学創作教室、川柳教室等 6講座43講義	5～3月の金、土	300	358	
※	ロビーコンサート 音楽の花束(演奏：明葉みゆきほか3名)	11/1(金)	60	37	
	文学道場 「中・高生のための創作講座」	7/31(水)～ 8/2(金)	20	30	
	小・中学生短歌コンテスト	夏休み期間中、小・中学生を対象に作品を募集し、優秀作品を表彰	11/1(金)～ 12/8(日)	1,500	3,712
	〃	小・中学生短歌コンテスト表彰式	11/16(土)	60	
	ファミリー文学館 ワークシート	7/20(土)～ 8/25(日)		1,794	ファミリー文学館関連事業
※	わくわくこどもランド 紙芝居、読み聞かせ、工作教室などに親子で参加	16回開催	760	642	
※	文学館まつり ギャラリー文学館、文学館演芸場、こども広場、秋のミニ色紙づくりなど	9/23(月)	200	576	
	映画鑑賞会 「丹下左膳餘話 百萬両の壺」	5/12(日)	80	68	
	映画鑑賞会 「蟹工船」	7/14(日)	80	117	
	映画鑑賞会 「イルカと少年」	8/25(日)	80	47	
	映画鑑賞会 「シンドバッド7回目の航海」	10/6(日)	80	30	
	映画鑑賞会 「おとうと」	12/1(日)	80	72	
	映画鑑賞会 「宇宙戦争」	2/16(日)	80	38	
	市町村連携事業 「文学館出前講座」	市町村、学校、文化団体等との共催で講演会等を開催した。	20市町村22会場	1,500	1,432
	市町村連携事業 「ミニ巡回展」	市町村、学校、文化団体等との共催で講演会等を開催した。	1市町村1会場		382
	文字・活字文化の振興事業 「斎藤潤・斎藤史の旭川時代」 講師：西勝洋一(現代歌人協会会員)	11/10(日)	80	44	
※	文化施設連携事業 「カルチャーナイト2013」 展示室の夜間開館等を実施	7/19(金)	200	607	
※	〃 札幌市生涯学習振興財団(ちえりあ)と協働でワークショップ「ブックトークをやってみよう!」を実施	3/9(日)		10	
※	地域連携事業 中島公園文化施設連携事業(キタラでの絵本読み聞かせ)	5/3(金)～4(土)		121	
※	地域連携事業 中島公園文化施設連携事業(かもくま祭で絵本読み聞かせ)	6/30(日)		28	
※	文化公演の活動 コンサート、朗読会の会場に利用	閉館後の夜間	300	727	
	文学資料の利用 閲覧室での研究、調査、読書等	通年(305日間)	4,000	4,575	
	文学愛好団体の活動 文学愛好団体が講堂利用(貸館)	通年(271日間)		1,959	
※	小学生向け事業 「文学館たんけんクイズ」	通年(271日間)		152	
教育普及事業参加者 計			10,580	20,701	

#### IV 北海道文学に関する調査研究事業

- ① 常設展プレミアム「木版画家・佐藤国男による宮沢賢治ワールド」関連資料調査
- ② 特別展「紙芝居の今昔展」関連資料調査
- ③ ファミリー文学館「絵本・カムイの物語」関連資料調査
- ④ 特別展「挿絵が僕らにくれたもの展」関連資料調査
- ⑤ 特別展「ほっかいどうの短歌100首展」関連資料調査
- ⑥ 特別展「荒巻義雄の世界展」関連資料調査
- ⑦ 特別展の図録作成に要する調査
- ⑧ 次年度の特別展「氷点50年展」関連資料調査
- ⑨ 次年度の特別展「手から手へ展」関連資料調査
- ⑩ 次年度ファミリー文学館の関連資料調査
- ⑪ 次年度の特別展「ムーミンの世界展」関連資料調査
- ⑫ 次年度の特別展「小檜山博の世界展」関連資料調査

#### V 文学愛好団体等の活動に対する支援事業

次の団体の事業に対して、後援名義並びに共催名義の使用を承認して支援した。

- ① フレット倶楽部  
東日本大震災被災地復興応援ギターとマンドリンによるチャリティーコンサート  
(平成25年4月27日 北海道立文学館地階ロビー)
- ② 中川町教育委員会  
斉藤茂吉記念第20回中川町短歌フェスティバル  
(平成25年6月1日～10月31日 中川町)
- ③ フレット倶楽部  
東日本大震災被災地復興応援ギターとマンドリンによるコンサート  
(平成25年6月2日 北海道立文学館地階ロビー)
- ④ 國松竜次ギターコンサート実行委員会  
國松竜次ギターコンサート  
(平成25年7月20日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑤ 角圭司ギターコンサート実行委員会  
角圭司ギターコンサート  
(平成25年8月6日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑥ フレット倶楽部  
東日本大震災被災地復興応援ギターとマンドリンによるコンサート  
(平成25年8月23日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑦ 藤元高輝ギターコンサート実行委員会  
藤元高輝ギターコンサート  
(平成25年8月31日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑧ 北海道新聞社  
直木賞受賞記念 桜木紫乃講演会「北で書く 北で描く」  
(平成25年9月5日 道新ホール)
- ⑨ ほるちか企画  
宮沢賢治＊銀河鉄道をめぐる冒険  
(平成25年9月7日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑩ ボランティアグループいろりばた  
いろりばたの大人が楽しむおはなし会  
(平成25年9月8日 北海道立文学館講堂)
- ⑪ 茶廊法邑、法邑美智子、法邑芸術文化振興会 水崎呈  
朗読と縄文太鼓の夕べ  
(平成25年9月13日 北海道立文学館地階ロビー)

- ⑫ 北海道学校図書館協会  
ノンフィクション作家 今西乃子講演会  
(平成 25 年 9 月 22 日 北海道立文学館講堂)
- ⑬ 井上仁一郎ギターリサイタル実行委員会  
井上仁一郎ギターリサイタル  
(平成 25 年 10 月 11 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑭ NHK 文化センター朗読教室松井信子クラス  
北海道ゆかりの文学を読む朗読会  
(平成 25 年 10 月 20 日 北海道立文学館講堂)
- ⑮ フレット倶楽部  
東日本大震災被災地復興応援ギターとマンドリンによるコンサート  
(平成 25 年 10 月 27 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑯ 特定非営利法人絵本児童文学研究センター  
第 18 回文化セミナー「こどもの宇宙」をみつめる ― 河合隼雄の遺したもの ―  
(平成 25 年 11 月 17 日 小樽市民会館)
- ⑰ 公益財団法人札幌生涯学習振興財団  
さっぽろ市民カレッジ 2014 冬期講座「ブックトークをやってみよう」  
(平成 26 年 3 月 9 日 北海道立文学館講堂)
- ⑱ さっぽろ大学熊谷ユリヤ研究室  
追悼と癒やしの詩  
(平成 26 年 3 月 10 日 エルプラザ大研修室)
- ⑲ チャリティー朗読会「連声」実行委員会  
チャリティー朗読会「連声」  
(平成 26 年 3 月 11 日 北海道立文学館講堂)
- ⑳ ボランティアグループいろりばた  
いろりばたの大人が楽しむおはなし会  
(平成 26 年 3 月 23 日 北海道立文学館講堂)

## VI 啓発広報事業

- ① 事業案内、各展覧会ポスター・ちらし及び講演会・セミナーちらし等を制作・発行し、道内外の文学館、道内の博物館や図書館、札幌市内の地区センター、区民センター、カルチャーセンター、主要ホテル、観光案内所等に配布した。又、JR 札幌駅、地下鉄各駅構内にポスターの掲示を行った。更に、展覧会の開催を PR するため、TV 及び新聞紙上で有料広告を行った。
- ② 「北海道文学館報」第 93 号（5 月 15 日付）、第 94 号（8 月 26 日付）、第 95 号（11 月 22 日付）、第 96 号（2 月 27 日付）を発行した。

## VII 刊行物の刊行事業

- ① 特別展「ほっかいどうの短歌 100 首展」図録の刊行
- ② 特別展「荒巻義雄の世界展」図録の刊行
- ③ 「平成 24 年度年報」の刊行
- ④ 「資料情報と研究 2013」の刊行

## VIII その他の付帯事業

- ① 「北海道文学大事典」（補遺版）の編集作業  
標記補遺版（人名編）の編集作業を行い、書名を「北の表現者たち 2014」とし、サブタイトルに「北海道文学大事典補遺」といれて刊行した。
- ② 博物館実習生の受入  
博物館実習生 ー16 名（受入期間 5 月～2 月。実習期間 2 週間）